

広報

なかつ先

51年1月号

第145号

発行所
編集発行人
大分県・日田
中津江村

斉藤隆一



人口の動態

昭和50年12月25日現在	
人口	2,397人
男	1,136人
女	1,261人
世帯数	614戸

今月の主な内容

P 2, 3

あけまして
おめでとう

あいさつ

P 4, 5, 6, 7

新成人はこう語る

P 8

文化財紹介
奨学生募集

1日 元旦

5日 御用始
中津江村成人式

7日 鬼火たき

8日 出初式
中学校始業式

15日 成人の日
小学校始業式

下旬 新年度就学児童
健康診断

26日 文化財防火デー

1月の行事

迎春

昭和五十一年

年頭のあいさつ

村 長 齊藤隆一

昨年は不況に明け暮れた一年でした。数々の対策がなされましたが、不況は回復されないまま年末を迎え、それに加えて公労協のスト権ストという上空前の政治的違法ストが全土を覆い、不況と政治的混乱に拍車をかけ、政労対決の山場を経た本年に引きつがれました。このストが経済並びに国民生活に与えた影響ははかりしれないものがあつたと思えます。

政府は今年度公共投資の増大と財投融资を柱にして景気浮上をはかる方針のようですが、不況は続くものと思われますし、失業雇用

の問題も深刻化すると思えます。地方自治体の財政も経済的不況と国の財政緊縮政策に伴い危機的様相を呈しつつあり、各県及び市町村は多数赤字に転落しようとしているのが現状です。こういう時機に多様な住民要求に応え、福祉の充実をはかりながら健全財政を維持して、自治を確立し行政の目的を達成することは大変な努力と工夫を要することと思えます。

村政の方針としては基本構想に基き山振、林構事業主産地形成事業を柱にして農林業振興、道路の改良舗装、教育の振興、生活環境



の整備、老人福祉等を重点として施策を実施する所存です。以下特記すべきことを若干述べます。

①特産物茶園の造成について篤農の方により本格的造園が各所で進められつつあるのは喜ぶべき現象です。
②農事放送施設については昨年施設を完了し新年より放送を開始する予定です。これは農林業振興はもちろん行政面にも活用して最大限に効果を発揮するようにしたいと思えます。
③第二次林構事業の目玉の一つである国有林活用事業について昨年営林局と協定ができたので、黒谷地区の協業体及び森林組合労務班で合計十五ヘクタールを小規模森林所有者の拡大、造林労働力の確保、後継者育成等の見地から新年より実

施します。活用の成果を期待します。

④テレビの難視聴解消については昨年田ノ原地区がNHKの事業として実施されみなさんに喜ばれています。が、他の地区についても県の単独事業として逐次解消するつもりです。

⑤電話の自動化については津江、鯛生局を一本化するのが念願でしたが、五十一年度より五十二年度に実施されるようになり、既に栃原、吉原機械設備のため敷地も電々公社により買収が済んでいます。

⑥道路関係では日田―山鹿線(県道鯛生恵良日田線と鯛生鹿本線を一本にした線)の主要地方道への昇格が内定したので今後一層の改良促進が期待されます。これは極めて画期的なことで関係市町村の真剣な努力と地元選出諸先生のご協力の賜と思えます。今後は昨年惜くも昇格もれになった八女―小国線(大川竹田線)の次期国道昇格について一層の努力をしたいと思えます。なお村内の県道林道の改良舗装については従来ど

おり早急に完了するよう努力し、産業観光生活道路としてその目的にそうよう速かに完成したいと思えます。
⑦中学統合問題については長計審の答申に基き、尊重して長期的教育の展望に立つて教育効果の最大限発揮と財政合理化の見地から、また子ども達の幸福のため積極的に施策を進める所存です。

⑧昨年度から実施中のスーパー林道は昨年更に一億円増の補正が行なわれ本年も引き続き一層活発な事業が行なわれると思えます。本村としては鯛生―石場間の新設を最優先とし、中川内―穴川峠界隈、竹原峠―宮原間の工事を積極的に推進するように森林開発公団に要望していただきますので関係者の方の格別のご協力をお願いしたいと思えます。
⑨その他、不況を打開し事業関係及び労働収入の増大をはかるため、できるだけ本村内に公共事業を導入して雇用の機会を増し、住民の生活安定に資することが極めて緊要な事ですので、国、県に道路改良治山事業

等の子算獲得、事業実施について極力要望し、また本村としても投資的事業を財政の許す限り実施する考えでいます。

⑩最後に水資源問題に関連して本村より菊池市への流域変更による竜門ダムへの取水問題が取沙汰されていますが、このことは緑と水の村づくりを基本理念とする本村にとつては極めて重要な問題ですので慎重に対処しなければならぬと思

います。これらを要するには、現在在地方財政硬直化が叫ばれている時期に健全財政を維持しながら義務的経費を極力節約して投資的事業の増大をはかり、住民福祉の向上をはかることは容易ならぬことですが、このためには村長以下職員一同、公務員として村民の奉仕者たるの自覚に徹し、益々努力と研鑽を重ね長期的視野に立つて財政計画を樹立し、計画的合理的かつ弾力的財政運営をおこない、もって村民の負託にこたえることが私どもに課せられた責務であると思



一歩一歩踏みしめて

議長 長谷部直徹

あけましておめでとうございませう。

昭和五十一年の新春にあたりお慶びを申し上げます。正月になると、「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」という諺を思い出します。これを口ずさむと何か新しい希望の光がみちあふれるような気持ちになり意義あることをする年がきたように思われます。まず今日から始まる五年十年先に通じるこの道を一歩一歩踏みしめて行きたいと思

います。ふり返ってみると昨年は多事多難な年であったと思っております。その中で重大なものは公労協の「ス

ト権スト」でしょう。史上空前のストは国民に多大な影響と迷惑を与え、国鉄のマヒ、郵便滞貨等は国民の犠牲の上で続行されたとい

つても過言ではないと思

います。こうした一般国民を

まきぞえにするようなこの

種のストは今後なされない

よう両方に反省を求めたい

と思

います。

村内での重大なことは、

「中学校統合問題」でしょう。

十数回にわたり論議をかさ

ね五十三年度開校の目標に

向って進めているわけです

が、実現までには種々の問

題があることと思

わられます。

しかし中学校教育の振興拡

充、教育施設の完備等をま

ず念頭においたら、問題は

自ら解決していくものと思

しくお願い申し上げます。潤いとゆとりを

もとめて

教育長 矢野時雄



昭和五十一年の新春を迎え、皆様にお喜びを申し上げますとともに、日ごろ感じ

ております所感の一端を述

べて、ごあいさつといたし

ます。

教育は百年の大計と申し

ますが、文化国家日本の今

日の繁栄は明治維新この方

私どもの祖先や先人の教育

に対する先見と尊い遺産で

あります。私どもはその継

承者として感謝するととも

に責任の重大さを強く感じ

ます。本村は九州のほぼ中央に位置して、都市からは遠く

離れた山村です。住む人もダム建設、金山の閉山で過疎は一層進み、今度の国勢調査では県下一の人口減少率を示し、二、一四〇人の村民となつて寂しい気がし

ます。しかし教育には過疎は許されませんし、「都市と山村との差」があつてはなりません。私どもは協力し合い、美しい郷土の自然環境を生かし、地理的悪条件を克服し、村教育の振興に努力し、子孫への最大の遺産

としたいと思います。

本村教育で当面する最大の

問題は中学校の統合、高

校進学対策、地区公民館の

設置等があげられます。村

当局はみな様のご理解、ご

協力をいただき、これの実

現に努力しています。

私どもは村人は少なくな

つても、お互いがあたたかい心で結ばれ、生涯教育によつて豊かな人間性を培い

生活に潤いとゆとりをもつ理想郷―中津江村をめざして努力を続けたいと思

います。よろしくお願ひし、新年のごあいさつといたしま

新成人 言いたく放題

今年の新成人(対象者)は71名、うち中津江村に住
民票がある新成人は17名。
またそのうち実際にいる新
成人は6名。しかし昨年よ
りは増えています。

その新成人5名と青年団
代表3名をまじえての新春
座談会が「新成人、いい
たい放題」と題して行なわ
れました。新成人は日ごろ
どのように考えているので
しょうか。

新成人の意見にも耳を傾
ける必要があるのではない
でしょうか。

司会 あけましておめで
うございます。今年は成人
式を迎えるわけですが、み
なさんたちに希望なり、考
えを「いいたい放題」と題
していろいろと話し合いを
したいと思えますのでよろ
しくお願いします。まず、
新成人を迎えての抱負なり
感想等をお聞かせ下さい。

A 二十才になったとはい
え、実感がなかく、わか
ないが、自分の仕事をな
司会 抱負としては今A君

層 一生懸命にやり、責任が
もてるようにしたい。
一同 右に同じ(笑)
B また何か大きいことを
やってみよう。
司会 大きいこととはどう
いうものでしょうか。
B さあ、そういうわかれても
どのように答えたらいいか
わからないけど……、とに
かく大きなことをやってみ
たい。
司会 抱負としては今A君

**青年が少なく
なつて淋しいネ**
司会 大体それでまとめら
れると思いますので、次に
いきたいと思います。昨年
の国勢調査で中津江の人口
は二一四〇人となりました。
いろいろの問題点、意見が
あると思いますのでご自由
に発言下さい。
D 人口が減つて特に青年
が数少なくなつてきて淋し
い。若い人の働ける職場が
できたら、増えると思う。
E しかしこの問題は行政
だけのことでなく地域住
民も根本的に考えなければ

ならないのでは?
B そのとおりに思います。
中学を出たら村外に働きに
出るものだという考え方が
強く、いや当然のように考
えているように思います。
C そこで考えてもらいた
いの、何とかして村内に
残るようにはできないかとい
うことです。もう少し村内
に残す努力をしてほしいし、
すべきと思います。
A 村内の職場としては、
役場、農協、郵便局等とし
てしか考えていない。村の
現状からみると林業や農業
が主産業であるのでこれら
にも目を向けてもらいたい。
D それでも山とか土地を
もたない人はどうすればい
い?
A 問題はそこ。しかしこ
のままでは農林業が主産業
なのにならに従事する青年
は少ない。しばらくすると
働き手が全くなると考
えられる。つまり山林所有
者も考えねばならないとこ
ろです。当然人を雇つて下
刈等をやらなければならな
いので、山林所有者も育成
する必要があると思う。
E なるほど。今特産物と
して、茶を奨励しているが
このようなこともよいので
は?
D 以前に茶の奨励をやつ
たと聞いていますが、やぶ
へびになつていいる。奨励だ
けではなく流通制度まで力
を入れてほしい。
C そう思う。そこまで十
分に力を入れたら成功する
のでは?
E そのようにしたら農業
の人たちも力があるし、

〈出席者〉

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 鷹 | 森 | 高 | 川 | 長 | 川 | 石 | 高 | 高 | 富 |
| 野 | 本 | 木 | 津 | 部 | 津 | 川 | 野 | 木 | 永 |
| | 久 | 憲 | 保 | 友 | 美 | 千 | 陽 | | |
| 潤 | 宣 | 望 | 司 | 佳 | 子 | 智 | 容 | 鳥 | 介 |



高 木 千 鳥

<S 30. 9. 13生>
吉原在住

また、奨励してもやってみなくては何ともいえない。農業の人も「あたってくだけろ」の精神があってもよいと思う。

新しい産業を!!

F 後継者育成についてはよくいわれることだが、現在その対策はやられていないように感じる。果して何か実行に移すことも大切だ。さつき出たように、行政だけの責任ではなく、村民全部の責任でもあるように思われる。

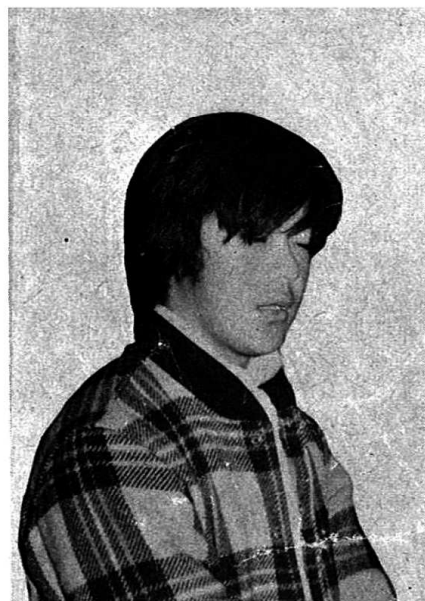
司会 現在誘致した工場としては朝日縫製があります。少し前誘致の問題がありました。これから誘致することは不況から難しいと思われまます。何かよい方法がありましたら、ご発言お願いします。

H 中津江に適した工場を誘致することができたら、申し分ないけど、やはり中津江はどこをみても山ばかり……、あくまでも農林業が主産業にならなければ。B 中津江に特別な産業があればよいけどね。F 特別な産業は初めからあるわけじゃない。誰かが少し始めたのが広がったのじゃないかな。C ということは、新しい産業をはじめていく必要が

あるということね。果してそんな産業があるかな。G とにかくそんなことをいってもしようがない。今ある産業をのばしていくのが早道と思う。たとえば林業で杉をそのまま出すのではなく加工することも考えなくてはならない。ただ板

住みよい中津江村に……

とか柱とかにするだけではなく。F たしかにその考えも必要だ。中津江は過疎だ過疎だといっているだけでは、発展はないよ。後継者育成には現在の産業をもっと魅力的にしなければならぬ。



富 永 陽 介

<S 30. 7. 3 生>
川辺在住

司会 人口の話題から大分飛躍しましたが、その他に何かありませんか。A 人口が減って困ることは教育面にも出てくる。私は結婚して子どもができ小学校にあがった時、同級生が少なかったかわいそう。また教育効果が心配になるね。D 今中学校統合が話題になつていますが、将来小学校も統合ということが出てくるかもしれない。A そうなつたら、通学距離が遠くなり、子どもがかわいそうだ。

E 中津江にも農機具が大分はいつています。農業の人たちは便利で大変助かっていると思いますが、私には余計な苦勞をしているように思います。農機具は一年のうち何回使うのか何日使うのかわからないけど、たとえば田植え機を買って二、三日使つたら

いつてほしい。村民も行政にまかせるだけではいけない。そうじゃないと中津江は発展しない。司会 いろいろな意見ができましたが、他にありませんか。どんな意見でも結構です。E こんなことをいつては悪いかもしれないけど、いいでしょうか。司会 どうぞ。



高 野 容

<S31. 2. 8生>
高迫在住

倉庫の中にしまふ。高い金を出してわずかに使用できるのはほんの数日、もったいない、機械を買ってその借金を払うために働いているみたい。もっと有効的に使わなくては。

司会 たとえばどのようなにすればよいのですか。

E 一年のうちほんの数日しか使わない機械なら、共同で買った(個人で買える人は別ですが)農協が数台買って貸つけるようにしたらよいと思います。

C そんなことをいっても時期が一緒になるから無理のようだけど。

E それは計画性があれば無理じゃないと思う。売り込むばかりでなく、そういうことも必要じゃないのか

結婚したら
都会に住みたいネ

な。農協も組合員がいてからの農協だから。こういうことは農協だけじゃなく、役場とかにもいえることと思う。

司会 このような内容については意見がまだあるとは思いますが、一応ここで打ち切つて、ぐつと砕けた内容にしたいと思えます。二〇才になれば、いやならなくても考えていると思えますが結婚について話し合いをしたいと思えますか。

B 年令としては二十二、三才ごろしたい。

D 私は二十五才ごろがいい。

C 私はいきそこなわないようにしたい。(笑)

司会 大体時期はわかりませんが、相手の年令とかどういう人がよいと思えますか。

B 相手としては、その時になつてみないとわかりませんが、二つか三つ上の人がいい。

D 大体それくらいね、どういう人かという人間的にしつかりしていて頼りがいのある人がいい。

E 村に残つた人がいい。村に残つたということは中津江に限らず、生れたところにいる人。

司会 年令的にいつたら二、三才上ということですが同級生はどう思いますか。

C 同級生には頼れる感じがな。

司会 ここでは女性が多いのですが、結婚したらどこに住みたいですか。

D これは相手次第けど、私は都会に住みたい。

E いや都会よりも田舎の方がいいよ。田舎だったら経済的にある程度生活していけるけど都会じゃそれだ



川 津 友 子

<S31. 2. 3生>
原部在住

け困難になる。

B しかしそれもやりくりがよかつたらやりぬけると思う。

E やりぬけるだけではだめ。田舎の人には人情があり、都会の人にはそれが無い。たとえば隣に住んでいる人がわからないとか。死んでも一週間も後からわかるとかいうのはこまる。

D いやそれでも私は都会に住みたい。

C 都会へのあこがれではあつてはおかしいし、そういうふうを考えるのは都会に長く住んでいないからじゃないの。

司会 内輪もめはそれくらいにして、まとめると二、三才ごろにしたいということですね。相手の人柄

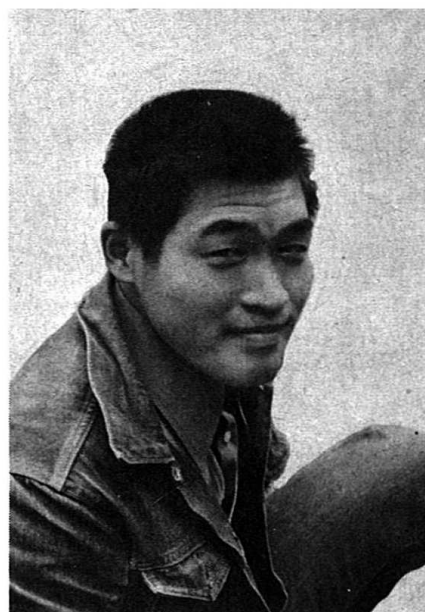
的には……。

E あつそうそう、まるで田舎者はだめ。田舎の人は都会の人とくらべてまじめだとは思いますが、ものが見方が落ちる。また田舎の人は都会の女からだまされることもある。

男性 だまされないようにがんばります。(笑)

普段着で
成人式に
参加したい

司会 話がいよいよはすんでしまいましたが、成人式について話し合いたいと思えます。今年成人式を迎えるわけですが、どういう成人式を望みますか。



青年団長
長谷部 保 佳

B 着物の成人式ではなく私服、ジーパン姿の成人式を望むね。普段着の成人式をしてもらいたい。

司会 どうしてですか。

B 着物は窮屈でたまらない。リラックスできない。大抵の人は式が終って私服に着がえて出て行くし、何のための着物かわからない。

D 着物を三〇万から五〇万かけて作ってもほんの数回しか着ることがない。中にはその日限りという人もいるかもしれないし、もつたない。

C 成人式のために着物をつくるのもつたない。男の人だったらスーツだしそれの方が後々利用されるからいいけど。

A 中津江にいる人たちが

普段着を着ていたらそこから普段着の成人式がはじまるのでは？

D そりゃーそうけど……着物は本人よりも親が着せたいのでは？ またこれは親の見栄のようにも思われるけど。

C 親が着ていけといつたら着ていかねば悪いし。

司会 あまり着物は好まないといいことですが、他の人が着ていたらどうしますか。

E 他の人が着ていたら私たちも着ていきたい。ひきめを感じる。

F 着物を着ていたら女性らしくしなければならぬし、中には外またで歩く人もいます。

D それはその人の自由じ

やない？(笑)

司会 このことはこれくらいにして、今年は一月五日に成人式が行なわれますがこの設定をどう思いますか。

B 五日にすることはいいけど普段着の成人式をするために夏することはできないのかな。

司会 できないことはないと思いますが、理由として他にどんなのがありますか。

C 着物のこともあるけど冬の場合雪で交通がマヒするおそれがあるよ。

D いや私は夏より冬の方がいい。理由としては精神的に引き締まるし、気分がでるしね。

C なぜ成人式は一月にするのかな。

A 歴史的になっっているしそういうことは何故小学校等の入学は四月からかという意見と同じと思うよ。

司会 成人式の時期のことは検討する必要があると思いますが、ここでまとめるとどちらかというとも一月より夏の方がよいということですね。

一 同 そうです。

楽しい成人式に……

成人証書は一人一人に

司会 最後にどのような内容の成人式を望みますか。

A 形どおりの式よりも気楽な式であつてもらいたい。特に祝辞の時、かたぐるしいのはやめてもらいたい。

B 一人五分、いや二、三分ぐらいの方がいい。

G それはあいさつする人次第で楽しくもなるし、退屈にもなる。

H そうそう、特に何人もの人がお祝いのことをいいうときには大体同じ内容になり退屈になり聞きたくない。

E 成人証を渡すのは右総代でよいのでは？

A いやそれはかえって一人一人手渡しの方が有意義であると思う。

B とにかく楽しい成人式であり、笑いが絶えないことが大切ね。

C 一生に一度のことだから印象に残る成人式であつてほしい。

司会 いろいろと意見を出していたいただきましたが、まだあるものと思います。一応ここで終了したいと思います。長い時間ありがとうございました。みなさん方のご意見等は肝に命じたいと思います。ご協力ありがとうございました。



石 川 美智子

〈S30. 7. 13生〉
木弓在住

文化財紹介(14)

宮園の津江神社

宮園の津江神社は老松大明神を主柱神として天神七代、地神五代の神々を祀り、

相殿配祀として吉祥比売神殿内配祀は以仁王御像代日隈信弘像代、津江山城守長谷部信連像代が祀られており、由緒深い神社である。

創立は日隈四郎藤原信弘が治安三年(一〇二三年)に宮原部落に創建したが、百四十五年後の仁安三年(一一六八年)に現在の宮園

に社殿を造り御遷宮されたと伝えられている。

この神社の春、夏、秋の三大祭のうち四月十五日に実施される春の大祭は「的ほがし祭」と呼ばれ、また七月十五日に行なわれる夏の大祭「もちつき祭り」は

県指定の無形民俗資料となっている。また境内にある杉の巨木三十数本と神社裏の自然林は県指定の天然記念物となっている。

▼県指定 杉並樹



▲宮園 津江神社

募 集

～中津江村奨学生～

昭和51年度の高等学校、高等専門学校奨学生を募集します。

1、応募資格

- (イ)日本国民であって中津江村内にその保護者が居住する者の子弟。
- (ロ)向学心に富み、人物学業ともにすぐれ思想健全で身体強健な者。
- (ハ)経済的に進学、修学困難な者。

2、応募期間

昭和51年1月16日～1月31日

3、募集人員

5名

4、奨学金の額

月額5,000円 ただし8月を除く

5、給付期間

昭和51年4月から在学する学校の修学期間の終期までとする。ただし、各学年末に調査の結果、学業成績または所得が著しく低下、増加した場合打ち切ることがある。

6、応募手続

- (イ)奨学生願書、(ロ)戸籍謄本(本村に本籍のない者は住民登録謄本)
- (ハ)学業成績証明書、(ニ)所得証明書

7、願書提出先および問い合わせ先

中津江村教育委員会

8、採用決定

奨学生に採用された者には、保証人を通じて通知する。

雑 記

あけまして おめでとー
ございませぬ。

今年辰年です。辰は十度の方角にあたり東方(春)の神の像とされています。

辰は竜とも呼ばれ、神話、伝説や物語の中の怪物で巨大な蛇状の姿をして、天空を飛び、炎の息を吐くと伝えられています。

中国では麒麟、鳳凰、亀とともに鱗虫の長として神霊視される四霊の一つであり、人間のいかなる「もの事」も見通し、天子が国家をよく治めれば、風雨を順調にし、魚産を豊かに恵まれると信じられていました。今年はその辰年です。祥瑞の気運をつかみ、不況にあえぐ世の中を飛躍しようではありませんか。

昨年の国勢調査では二十五%減、前回は三十五%減と二回連続県下一になりました。過疎現象はやはり続いています。村内では中学を卒業したら村外へ出ていくのが当然のような風潮で、中津江は心のふるさとの存在しかないかと考えると悲しくなります。しかし悲しんではかりではいけないのです。この中津江はみんなのふるさとであり、生きていくところなのです。今年辰年、みんなで力を合せて住みよい「村づくり」をしようではありませんか。